

関係各位

会社名 高千穂交易株式会社
代表者名 代表取締役社長 戸田 秀雄
(証券コード 2676 東証第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員 赤堀 寛人
電 話 03-3355-1111

高千穂交易、西東京市図書館にICタグを用いたRFID図書館システムを納入

—— 図書館業務の効率化と利用者の利便性向上に貢献 ——

高千穂交易株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：戸田秀雄、証券コード：2676）は、東京都西東京市図書館 全7館へICタグを活用した「RFID図書館システム」を納入、6月1日より運用を開始しました。

高千穂交易が販売しているスイス・ビブリオテッカ社製RFID図書館システムは、蔵書やCD/DVDに貼付するICタグ、自動貸出システム、自動返却仕分けシステム、帯出監視ゲート、蔵書管理端末によって構成され、貸出／返却から蔵書管理業務に至るまで、図書館のあらゆる業務を効率的にサポートします。

本システムで用いられるICタグは、記録できる情報量が多く、情報の書き換えも可能です。また、1冊ずつ読み取りを行う従来のバーコードと異なり、複数のタグを同時に認識することができるので、貸出／返却、蔵書管理業務の自動化・迅速化を実現します。

西東京市図書館は、西東京市内に配置した中央館、分室、5つの地区館の全7館によってサービスを行っており、資料数（2008年3月末）は、図書739,264冊、雑誌921タイトル、CD・カセット15,377点にのぼります。

今般の本システムの採用によって、西東京市図書館では、図書等の貸出業務の自動化や蔵書管理の効率化が図られるため、その分、職員による利用者の相談対応や館内案内といった利用者向けサービスの向上が期待できます。また、利用者側も、貸出時の待ち時間短縮や自動貸出によるプライバシーの保護など、利便性向上のメリットが見込めます。

高千穂交易では、今後も公共図書館、大学図書館を中心に本システムを提案し、導入実績を増やしていく予定です。システムは基本構成で800万円から。

【西東京市図書館 事例写真】

■自動貸出システム

複数冊の本やCD/DVDなどを重ねて置くだけで、簡単に貸出手続きができます。



■帯出監視ゲート

貸出処理を行わずに図書を持ち出すとアラームが鳴ります。



<西東京市図書館 概要>

西東京市図書館は、2001年の田無市、保谷市の合併以来、それまでの地域に密着した「市民の図書館」としての機能に加え、ITの導入や障害者サービスの充実、市の他機関との連携に基づく「子ども読書活動推進計画」の策定・実施と活発な活動を展開している。その結果、2003年の生涯学習についての市民の意識調査でも「市民が最も重要と考え、最も利用しやすい施設」として図書館が挙げられている。

合併後の2002年にコンピュータシステムを統合し、全域サービス網の整備を進めてきた。

「図書館年鑑2007」とよると、全国の人口15万人以上20万人未満の52市区の中で蔵書冊数が6位、年間貸出冊数が2位、年間予約受付件数が3位となっており、市民の大きな期待を担っている。（「西東京市図書館の概要」より抜粋）

<ビブリオテッカ社 概要>

RFIDを用いた図書館システムの開発・製造・提供の専業会社。ヨーロッパ、北米を中心に公共図書館へ多数の導入実績を持っています。（2002年設立、本社スイス・ツーク市）

URL: <http://www.bibliotheca-rfid.com>

<高千穂交易株式会社 概要>

高千穂交易は、1952年の創立以来、世界の最先端エレクトロニクス商品・技術・サービスを日本に紹介し、数多くの企業の情報化に貢献してまいりました。「ビジネスセキュリティ」を事業コンセプトとして、ビジネス環境に「安全・安心・快適」を提供し、お客さまの企業価値増大に努めています。

商品監視システム・監視カメラシステムなどのセキュリティプロダクトと、企業ネットワークシステム・入退室管理システム・蔵書／資産管理システムなどのビジネスソリューションプロダクトを中核とする「システム機器事業」、半導体・電子部品などの電子プロダクトと、スライドレール・ガススプリングを始めとする機構部品プロダクトを中核とする「デバイス事業」、ならびに、付加価値の高いサポートサービスおよびソリューションサービスを提供する「カスタマサービス事業」を展開しています。

URL: <http://www.takachiho-kk.co.jp/>

■本リリースについてのお問い合わせ

高千穂交易株式会社

コーポレート統括室 村木 まで

E-mail muraki@takachiho-kk.co.jp

TEL. 03-3355-1189